

## 先生方のための徹底入試対策講座

## 第105回 必要条件ですか？

次のような問題で、気になる誤答がありました。(1)でおかしな結果を出し、(2)以下の解答において混乱しているような答案です。

## 【問題】

関数 $f(x)$ がすべての実数 $x, y$ に対して

$$f(x+y)=f(x)f(y)-f(x)-f(y)+2 \quad \cdots(*)$$

を満たしている。さらに $f(x)$ は $x=0$ で微分可能で $f'(0)=-2$ である。

- (1)  $f(0)$ を求めよ。
- (2)  $f(x)$ は任意の実数 $x$ で微分可能であることを示せ。
- (3)  $f(x)$ を求めよ。

## 【誤答例】

- (1) (\*)に $x=y=0$ を代入して  $f(0)=f(0)f(0)-f(0)-f(0)+2$   
よって、

$$\begin{aligned} f(0)^2-3f(0)+2 &= 0 \\ (f(0)-1)(f(0)-2) &= 0 \end{aligned}$$

ゆえに、  $f(0)=1, 2 \quad \cdots$  (答) ((2)以下は省略)

さて、どこが間違いでしょうか。そのような誤答が出た原因は？対策は？

## 【正解の例】

- (1) (\*)に $y=0$ を代入して  $f(x)=f(x)f(0)-f(x)-f(0)+2$   
よって、

$$\begin{aligned} f(0)f(x)-2f(x)-f(0)+2 &= 0 \\ (f(0)-2)(f(x)-1) &= 0 \end{aligned}$$

ここで、 $f(x)=1$  (定数の関数) とすると、任意の実数 $x$ で $f'(x)=0$ となり、 $f'(0)=-2$ に矛盾。

ゆえに、  $f(0)=2 \quad \cdots$  (答) ((2)以下は省略)

上の「誤答例」も「正解の例」も、それぞれ、(\*)に $x=y=0, y=0$ を代入したのですから、必要条件を求めたに過ぎません。結果的に、前者は与えられた条件を満たさない不適な解を含み、後者は条件を満たす解のみ求めたこととなります。

(1)は(3)まで解いて $f(x)$ が存在することが示されて初めて、必要十分な解と言えるわけですから、このような出題形式では(1)はそもそも必要条件を求めなさいという意味なのでしょうね。それだったらどちらも正解???というような議論も根底にはあるのですが、今回は触れません。

では、なぜこのように不適な解を含む誤答が出てきたのでしょうか。



与えられた(\*)には、二つの変数  $x, y$  が含まれています。「誤答例」では、その区別なく、 $x=y$  という条件を与えている、つまり、与条件が緩くなってしまったのですね。そこで、結果は求めるべき解  $f(0)=2$  を含むより大きな集合  $f(0)=1, 2$  が得られたということになります。「正解の例」では、そうした余計な条件を加えていませんね。

.....

生徒たちは、この「誤答例」のように解くことが少なくありません。

「 $f(0)$  を求めたいのだから、(\*)に  $x=y=0$  を代入してダメなんですか」という声が聞こえてきそうです。 $x=y=0$  は、彼らにとって、 $x=0$  と  $y=0$  という意識しかないのですね。 $x=y$  という特別な、極めて特別な条件を付け加えたという意識は、ほとんどありません。そうしたときには…

「 $x=y$  のときには(\*)はどうなるかな」

「 $f(2x)=f(x)^2-2f(x)+2$  となります。」

「君は、次のような問題を考えていることになっているよ。」

関数  $f(x)$  がすべての実数  $x, y$  に対して

$$f(2x)=f(x)^2-2f(x)+2 \quad \cdots (*)$$

を満たしている。さらに  $f(x)$  は  $x=0$  で微分可能で  $f'(0)=-2$  である。

(1)  $f(0)$  を求めよ。

「あれっ、変ですね。」

と、自ら「何か変だな」という気づくことが生徒たちには大切です。「必要条件だから…」というような説明だけではなかなか腑に落ちないようです。

.....

ちなみに、(2), (3)の略解は次のようになります。念のため。

【略解】(2)

$$\begin{aligned} \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x+h)-f(x)}{h} &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x)f(h)-2f(x)-f(h)+2}{h} \\ &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{(f(h)-2)(f(x)-1)}{h} \\ &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{(f(h)-f(0))}{h} (f(x)-1) \\ &= f'(0)(f(x)-1) \\ &= -2(f(x)-1) \quad (\text{収束}) \end{aligned}$$

よって、 $f(x)$  は任意の  $x$  で微分可能であり、 $f'(x)=-2(f(x)-1)$

(3) (2)から

$$e^{2x} f'(x) + 2e^{2x} (f(x)-1) = 0$$

$$\{e^{2x} (f(x)-1)\}' = 0$$

よって、 $e^{2x} (f(x)-1)=C$  となるが、このとき  $f(0)=2$  から  $C=1$

したがって、

$$f(x)=e^{-2x}+1 \quad \cdots (\text{答})$$